

はじめに

食は、私たちが生きていくために欠かせない命の源であり、おいしく楽しく食べることで生きる喜びを与えてくれるだけでなく、体育、知育、徳育のあらゆる場面において、私たちが育む力を持っています。

しかしながら、近年、社会環境や世帯構造が変化し、ライフスタイルや食についての価値観の多様化が進んだことで、食に起因する生活習慣病、食や食文化に関する意識の希薄化、一人で食事をとるいわゆる孤食の問題、食品廃棄の増加など、食に関する課題が生じています。

これらを解決していくために、本県では、これまで2度にわたる食育推進計画を策定し、総合的かつ計画的に食育の取組を進めてきたところです。

県においては、時代の潮流や本県の課題を的確に捉え、将来を展望しながら新たな視点で長崎県づくりを計画的に進めていくため、「長崎県総合計画チャレンジ2020」を策定したところですが、「いつまでも健康で活躍できる社会の実現」のための重要な施策として、「食育の推進」を位置づけているところです。

この「第三次長崎県食育推進計画」においては、食育をライフステージに応じて推進するとともに、特に子育て世代を含む、次代を担う若い世代へアプローチを図り、県民運動として取り組むこととしています。

施策の展開にあたっては、市町や地域、県民の皆様とも連携を図りながら取組を進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただき、また貴重なご意見を賜りました「長崎県食育推進県民会議」の委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年3月



長崎県知事 中村 法道